

## 令和5年度富山県スポーツ推進委員アウトドアスポーツ研修会 報告書

- 1 期日 令和5年9月23日(土)
- 2 会場 砺波総合運動公園 多目的競技場
- 3 参加者 245名(市町村スポーツ推進委員・事務局)

### 4 内容

#### (1) 開会式

①開会の挨拶 富山県スポーツ推進委員協議会 会長 廣瀬 孝作

②歓迎の言葉 砺波市教育委員会 教育長 白江 勉

#### (2) 競技説明

砺波市スポーツ推進委員協議会 理事長 今井 義昌

#### (3) 実技研修

モルック(予選リーグ、決勝リーグ)

#### (4) 閉会式

①結果発表

②閉会の挨拶 砺波市スポーツ推進委員協議会 会長 石田 智久

### 5 実技研修

モルックはフィンランドはカレリア地方の伝統的なゲームを元に、1996年に開発されたスポーツであり、性別や年代、スポーツ経験の有無、障害の有無を問わず、誰もが楽しめるニュースポーツである。モルックで3.5m先にあるスキttlを倒し、50点を先取したチームが勝ちとなる。今回の研修会では、体験することをメインと考え、ルールを一部変更し、予選リーグと決勝リーグを実施した。

競技内容やルールも簡単なため、参加者はすぐに競技に馴染むことができていた様子だった。途中雨が降ったことで競技を中断する場面もあったが、どのコートも大変盛り上がり、モルックを楽しんでいる様子が見られた。



### 6 振り返り

- ・全体を通してスムーズな運営だった。各コート、スタッフがルールを理解していたため、スムーズに競技を行うことができた。
- ・今回の研修では芝生の上で実施したため、砂地に比べてスキttlがなかなか転がらず、展開が乏しかった。スキttlが散らばることで、難易度やチームの戦略等も変わってくるため、実施会場を検討する必要がある。
- ・広い会場だったため、1チームの人数を減らし、コート数を増やすことで、体験回数が多くなり、より充実した研修会になったのではないかと感じた。また、コート内で参加者が密集していたため、コートの間隔を広くとれるとよかった。